



# 2023年ベネフィット・トレンド・サーベイ (福利厚生動向調査)

補足資料



# サーベイについて

## グローバル

5,233 企業



2,290 万 従業員

72%

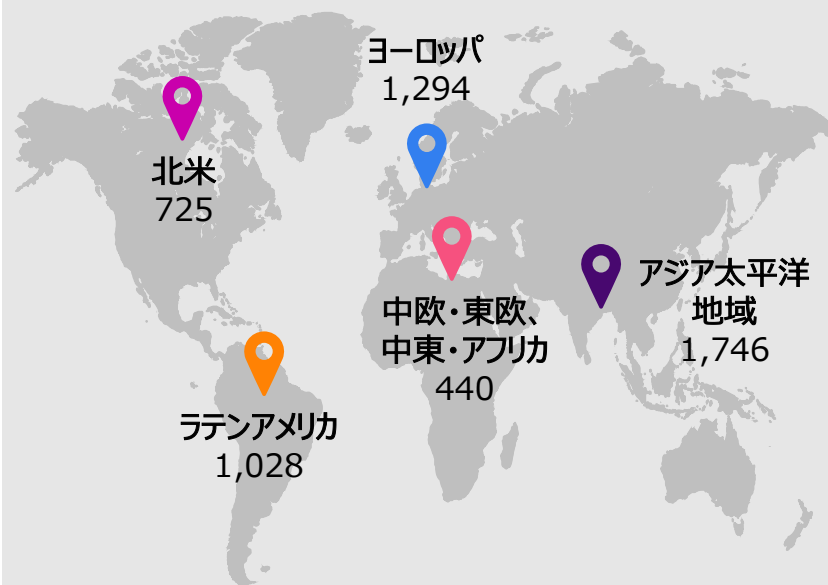
複数の国/地域に所在する企業

46%

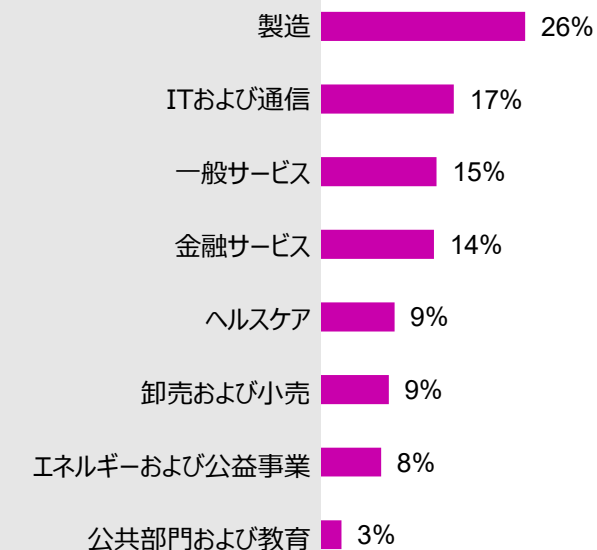


グローバル、地域、または複数国を担当する回答者

### 地域



### 業種



注：四捨五入のため、パーセントの合計が100%にならない場合があります。  
ソース：2023年ベネフィットトレンドサーベイ、グローバル

# サーベイについて

日本

65 企業



10 万 従業員

81%

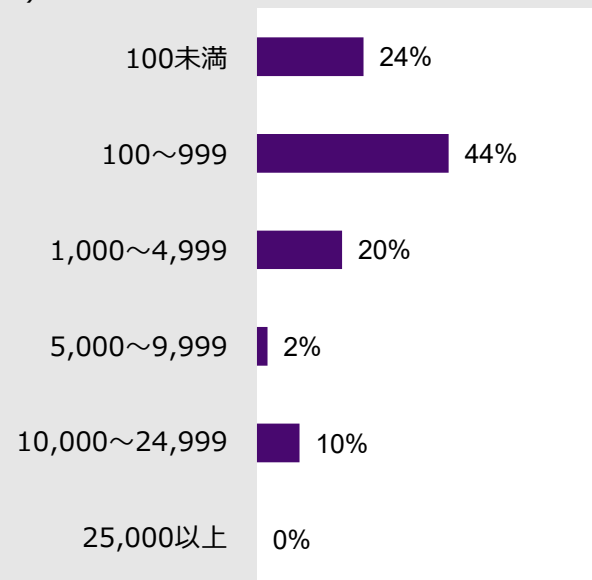
複数の国/地域に所在する企業

37%

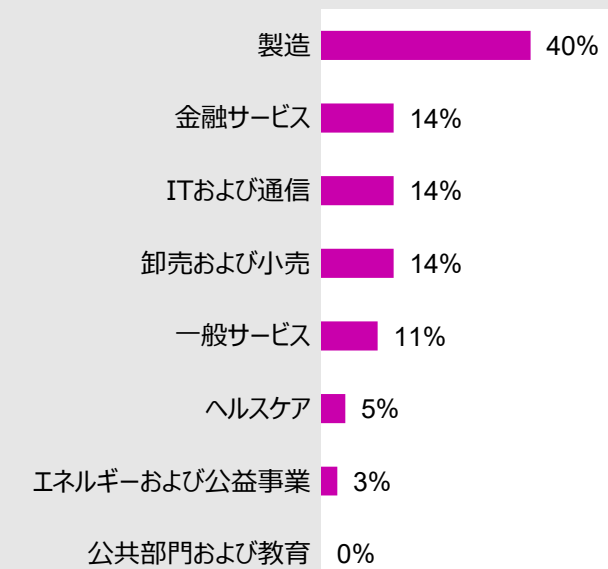


グローバル、地域、または複数国を担当する回答者

## 企業規模 (従業員数)



## 業種







注：四捨五入のため、パーセントの合計が100%にならない場合があります。  
ソース：2023年ベネフィットトレンドサーベイ、日本

# グローバルトレンド - 2021～2023年

この2年間で何が変わったのか？

## 焦点のシフト

-  コスト管理への配慮
-  人材獲得・定着のために福利厚生を活用する
-  財務の安定とキャリアに対応するために福利厚生に注目する
-  従業員のエンゲージメント、生産性、有効性に関する懸念

## 加速中

- メンタルヘルスサポート
- ベンダー契約の改善
- デジタルプラットフォームの利用と意思決定の支援
- オペレーションの合理化による効率性の向上
- 福利厚生費とリスクの予測

## 伸展

- 従業員体験（EX）に関する聞き取りと分析
- 従業員の長期的な財務状況の改善
- DEIの提供、ESGを福利厚生に取り入れる
- 対象を絞ったコミュニケーション
- 福利厚生のベンチマーキングと保険金請求の分析

## 遅滞

- 柔軟性と選択肢のある福利厚生の提供
- リスク軽減戦略
- 市場をリードする事務テクノロジーの導入
- プログラムの価値/影響の評価
- 従業員の行動に対する働きかけ

# 福利厚生強化（日本）

今後2年間に向けた改善の機会および計画している取り組み

	ポートフォリオ	財務	従業員体験（EX）	事務・オペレーション	分析・報告
機会	手頃な価格の福利厚生	リスク管理	従業員の理解、意思決定の支援	ベンダー管理	ベンダー分析
取り組み	経済的なウェルビーイング  定年後のプラン  柔軟な勤務体制	ベンダー契約の改善  福利厚生への追加資金  退職金制度のリスクの軽減	コミュニケーション手段  デジタルプラットフォーム  対象を絞ったコミュニケーション	自社オペレーションの合理化  アウトソーシングの拡大、社内リソースと外部サプライヤーの置換  福利厚生に関する情報と人事情報システムの統合	福利厚生におけるベンチマーキングのための市場調査  地域全体の補償内容の分析  従業員の価値観と嗜好の理解

ソース：2023年ベネフィットトレンドサーベイ、日本